第２　共益的債権及び優先債権の取扱い
　共益的債権及び優先債権は随時、全額を弁済する。
第３　協定債権の取扱い
１　協定債権の概要
　協定債権の額及び協定債権者の数は次のとおりである。
①協定債権の額
　債権総額　3069万9216円
　内訳　元本　2924万5469円
　解散日までの利息及び損害金　145万3747円
　解散日の翌日以後の損害金　額未定
②協定債権者の数
　２名
２　協定債権者の弁済
　清算株式会社は、協定債権につき、以下のとおり弁済する。
⑴　弁済日
　本協定の認可決定が確定した日の属する月の翌月の末日限りとする。
⑵　弁済額
　協定債権者に対する弁済額は次のとおりとする。
ア　弁済総額
　金100万円
イ　算定方法
㋐　徳島県信用保証協会に対する弁済額
　100万円を弁済額算定における弁済基礎金額とし、庄野享を除く全ての協定債権者の有する協定債権の額の内、元本債権額を基準債権額として、基準債権額の割合に応じて算定した額を弁済額とする。
㋑　庄野享に対する弁済額
　庄野享に対する弁済額は０円とする。
ウ　各協定債権者への個別弁済額
　前イに定める弁済額の算定方法に基づく各協定債権者に対する弁済額は、別紙弁済額等一覧表中「弁済額」欄に定めるとおりである。

第４　債務免除
　協定債権者は、本協定の認可決定の確定日をもって、協定債権の内、各協定債権者への個別弁済額を除く、すべての残元本債権、利息及び損害金並びにその他一切の債権について免除する。
第５　新たな財産が発見された場合
１　本協定の認可決定日の翌日以降に新たな清算株式会社所有の財産が発見された場合は、清算株式会社は速やかにこれを換価し、その換価の完了までに発生済み又は今後の発生が見込まれる共益的債権及び優先債権を控除し、なお残余があるときはこれを弁済原資として、本件弁済日の１週間前までに換価が完了したときは本件弁済日に、本件弁済日の１週間前の翌日以降に換価が完了したときはその換価が完了した日から１か月以内に、本協定第３、２⑵イで定めた基準に応じ、各協定債権者に対して弁済する。
２　前項に定める弁済がなされたときは、当該弁済額の範囲で協定債権者は第４に定める免除を撤回する。
（別紙省略）
　徳島地方裁判所民事部

監督命令取消

再生手続開始

再生手続終結

小規模個人再生による再生手続開始